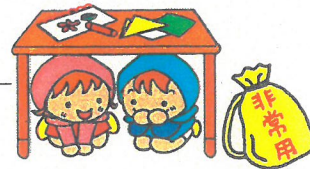


～阪神・淡路大震災について～

1995年1月17日5時46分、阪神淡路地区で震度6の大きな地震がありました。
地震はいつどこで起こるか分かりません。

そこで保育所では、地震の時には①机の下に隠れる。②防災頭巾をかぶって避難をする。
等の避難訓練を定期的に行っています。地震が発生した17日にも地震の避難訓練を
行い、阪神・淡路大震災のことを知り、地震の怖さや身の守り方を再確認できるように
以下のように取り組みます。



3 歳児：○身近な人の体験談を聞いて震災について知る。
○絵本を通して避難の仕方、身の守り方を知る。

4 歳児：○震災当時の写真を見て、地震の怖さ、沢山の命がなくなったことを知り、
命の大切さについてみんなで考える。
○地震が起こった時に、どう身を守るかを一緒に考えながら知る。

5 歳児：○おうちの人から聞いて知った震災のことを出し合う。
○震災により、建物が壊れ、沢山の命がなくなったことを知る。
○地震などの危険なことが起った時にどう避難し、身を守るかを再確認する。

☆伊丹市の取り組み☆

昆陽池では阪神淡路大震災犠牲者追悼のつどいが行われています。

今年のテーマは、「萌芽（きざし）～失った命の数をろうソクの灯火に込めて～」です。

失った命と同じ数の6434本のろうそくを1月16日午後5時46分～地震が発生した
17日午前5時46分まで12時間にわたり灯し続けます。

震災の記憶を風化させることなく、震災を知らない次の世代へも防災・減災の重要性を
語り継いでいきたいですね。この機会にご家庭でも話をしてみたいはいかがでしょうか。